

日本新薬のDNA

私たちの使命。それは、

ヘルスケア分野になくてはならない事業体として

「存在意義のある会社」になること。



日本新薬は、医薬品および機能食品事業を通じて、
高品質で特長のある製品を社会に提供することで、人々の健康に貢献することを使命としています。

独自性があり、社会から信頼され、
評価される組織、すなわち「ヘルスケア分野で存在意義のある会社」を目指すべき
企業の姿として掲げています。

経営理念

人々の健康と豊かな生活創りに貢献する

経営方針

高品質で特長のある製品を提供する (顧客)

病気でお困りの患者さんを最優先に考え、他剤と比較して有効性、安全性、患者さんのQOL面で何かひとつでも優れている医薬品および顧客ニーズを満たす質の高い機能食品を創出・提供します。

社会からの信頼を得る (社会)

法令や社内規則を遵守することはもちろん、社会的責任を絶えず意識し、高い倫理観をもって行動します。

一人ひとりが成長する (社員)

目標の達成に向け、前向きにチャレンジし、業務の推進を通じて成長します。

行動指針

チャレンジ (Challenge)

私たちは、倫理観に基づく強い信念と責任感を持ち、さまざまな目標に対して、常にポジティブ思考で前向きに取り組みます。

スピード (Speed)

私たちは、何事にもスピード感をもって、迅速に、機を逸することなく行動します。

インベスティゲーション (Investigation)

私たちは、幅広く収集した情報を綿密に調査・分析し、目標達成に向けてしっかり計画を立て、PDCAサイクルを確実に回します。

スマイル (Smile)

私たちは、円滑なコミュニケーションが行われるように、いつも笑顔で行動します。

当社の詳細な沿革は、Webサイトをご覧ください。

https://www.nippon-shinyaku.co.jp/company_profile/history/history01.html



2019年度売上高

1,166億3千7百万円

日本新薬のあゆみ

すべてを超えてくすりの未来へ

今までの常識や国境、人種を、そして自らの限界を超えて。
世界中の患者さんやそのご家族の、輝かしい未来のために。
私たちは今日も、新しいくすり創りに取り組んでいます。

社会に貢献する
製品を発売

- 医薬品事業
- 機能食品事業

創立

1919

売上高

1929年

- 新植物よりサントニンの結晶を抽出。栽培に成功した壬生の地になみ、新植物を「ミブヨモギ」と命名

1940年

- 回虫駆除剤「サントニン」



サントニン

1967年

- 前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」



エビプロスタット

1979年

- 頻尿治療剤「ブラダロン」



ブラダロン

1984年

- 前立腺がん治療剤「エストラサイト」



エストラサイト

1989年

- 胃潰瘍治療剤「ガスロンN」

1992年

- 高血圧・狭心症治療剤「セレクトール」



セレクトール

1994年

- 抗リウマチ剤「オークル」
- 鎮痛・抗炎症剤「ハイベン」



ハイベン

1998年

- 健康食品素材「ガルシニアエキス」

2002年

- ACE阻害剤「オドリック」

2008年

- 子宮内膜症に伴う月経困難症治療剤「ルナベル」
- プロテイン製剤

2009年

- 勃起不全(ED)治療剤「シアリス」
- 肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」
- アレルギー性鼻炎治療剤「エリザス」



エリザス

2010年

- がん疼痛・慢性疼痛治療剤「トラマール」

2011年

- 骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」

2013年

- アルコール依存症 断酒補助剤「レグテクト」

2014年

- 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤「ザルティア」

2015年

- 持続性がん疼痛・慢性疼痛治療剤「ワントラム」
- 肺動脈性肺高血圧症治療剤「オプスミット」



アドシルカ



ザルティア



ワントラム

2016年

- 肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」
- 「WINZONE ENERGY×ENERGY」



ウプトラビ



WINZONE

2017年

- 「AGE-SHUT美のダイヤモンドゼリー」

2018年

- スポーツサプリメント「WINZONE ENERGY GEL」
- CD20陽性濾胞性リンパ腫治療剤「ガザイバ」

2019年

- 前立腺癌治療剤「アーリーダ」
- 前立腺癌治療剤「ザイティガ」



デファイテリオ

- 肝類洞閉塞症候群治療剤「デファイテリオ」
- 機能性表示食品「マンゴスティア」
- 機能性表示食品「記憶の小箱」



マンゴスティア



記憶の小箱

2020年

- デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「ビルテブソ」



ビルテブソ

日本新薬の今

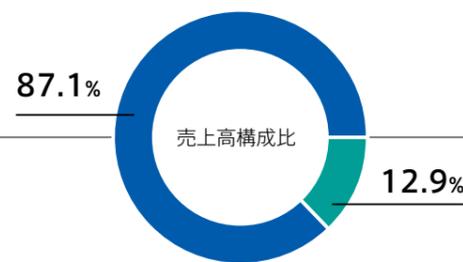
ビジネス展開 2つの事業を展開し、高品質で独自性の高い製品を社会に提供しています。

医薬品事業

売上高

1,016億4千3百万円

医薬品事業では、注力する4つの領域(泌尿器科、血液内科、難病・希少疾患、婦人科)を中心として治療ニーズが満たされていない疾患領域を主なターゲットに、病気で困っている患者さんの福音となる、高品質で特長のある医薬品を提供します。



機能食品事業

売上高

149億9千4百万円

機能食品事業では、製薬企業としての高い技術力を生かし、注力する4分野(健康食品素材、品質安定保存剤、プロテイン製剤、サプリメント)を中心として、市場ニーズに応える高付加価値製品を提供します。



4つの注力領域

医薬品事業



4つの注力分野

機能食品事業

当事業の強み	領域	製品紹介
<p>医薬品事業では、注力4領域で他社が手掛けておらず治療ニーズが満たされていない疾患において、特長ある治療薬を提供できるよう、自社創薬、導入、プロダクト・ライフサイクル・マネジメント(PLCM)の3本柱でパイプラインを充実させてきました。これまで築き上げてきた低分子医薬品の創薬基盤に核酸医薬や遺伝子治療などの創薬モダリティ・技術を加えていくことで創薬の幅を広げ、他社にはない独自の創薬力を強化しています。継続的に製品を市場に投入してきた中では、各領域において医療関係者の多様化するニーズに対応できる質の高い情報提供活動を行い、高い評価を得ています。グローバル展開では、自社創薬品「ウブトラビ」を中心とする輸出事業を推進し、各国の状況に応じた自社創薬品の自社販売・導出も積極的に行っていくことで、製品の価値最大化を目指しています。当社は今後も治療ニーズが満たされていない疾患領域に経営資源を重点的に投入することで、有効性、安全性、患者さんのQOL面で何か一つでも優れている医薬品を提供していきます。</p>	泌尿器科	ザルティア、アーリーダ、ザイティガ、シアリス、エストラサイト、プラダロン、エビプロスタットなど
	血液内科	デファイテリオ、ガザイバ、ビダーザ、アムノレイク、トリセノックス、キロサイドN、キロサイド
	難病・希少疾患	ビルテプソ、ウブトラビ、オプスミット、アドシルカ
	婦人科	ルナベル配合錠ULD、ルナベル配合錠LD
	その他	エリザス、アズノールうがい液、リボスチン、セファドール、イソバイド、ワントラム、トラマール、レグテクト

当事業の強み	分野	製品紹介
<p>機能食品事業では、製薬企業で培った独自の技術と厳しい品質管理により高い評価と信頼を得ています。健康食品素材分野では、健康志向の高まりや高齢化の進展に合わせて、継続的に新製品を市場へ投入しています。品質安定保存剤分野では、食品のおいしさを維持しながら保存性を向上させることで廃棄される食品の削減に貢献しています。プロテイン製剤分野では、独自性のある製品の開発を行い、機能面、栄養面において多様なニーズにお応えできる多くの品目を取りそろえています。また、健康長寿やアクティブライフに貢献するという想いから、サプリメント事業をさらに市場浸透させ今後の主要事業として成長させていきます。社内外の経営資源を活用し研究開発力を強化することで、市場ニーズに応える高付加価値製品を継続的に提供していきます。</p>	健康食品素材	マンゴスチンアクア、ヒアルロン3000、ガルシニアパウダー、パコパエキスパウダー
	品質安定保存剤	ミライエスNu、ピネッシュDeli、ミカクファインS、ミカクファインBK、ミカクファインZ
	プロテイン製剤	ラクトクリスタルplus、PROGEL800、エンラクトHG、フィットネスS
	サプリメント	スポーツサプリメント(WINZONEシリーズ)、エイジングケアサプリメント(マンゴステア、記憶の小箱など)

財務・非財務ハイライト

連結財務指標サマリー

	2015	2016	2017	2018	2019
(年度)					
会計年度 (単位: 百万円)					
売上高	84,209	98,781	101,448	114,716	116,637
医薬品	70,489	85,315	87,416	100,223	101,643
機能食品	13,720	13,466	14,031	14,492	14,994
営業利益	8,549	15,280	17,079	20,644	21,668
親会社株主に帰属する当期純利益	6,340	11,749	12,953	16,302	16,866
減価償却費	2,452	2,648	2,773	3,418	3,468
設備投資額	3,554	3,949	2,811	1,242	2,500
研究開発費	9,739	14,903	13,221	16,701	13,994
会計年度末 (単位: 百万円)					
総資産	135,370	150,905	155,887	168,763	175,017
純資産	102,762	114,316	125,689	135,190	145,760
1株当たり情報 (単位: 円)					
1株当たり当期純利益 (EPS)	94.10	174.42	192.31	242.04	250.42
1株当たり配当金	28	48	52	70	86
主要財務指標 (単位: %)					
自己資本比率	75.8	75.6	80.5	80.0	83.1
自己資本当期純利益率 (ROE)	6.2	10.8	10.8	12.5	12.0
配当性向	29.8	27.5	27.0	28.9	34.3

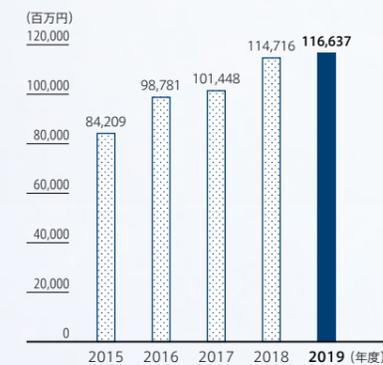
ESG指標サマリー

エネルギー総使用量 (主要事業所*) (千GJ)	193	199	209	212	211
CO ₂ 排出量 (主要事業所*) (トン)	10,059	10,165	10,609	10,129	9,435
売上高CO ₂ 原単位 (トン/百万円)	0.119	0.103	0.104	0.089	0.081
従業員数 (人)	1,914	1,934	1,962	1,998	2,026

* 主要事業所: 本社地区、小田原総合製剤工場、東部創薬研究所

財務ハイライト

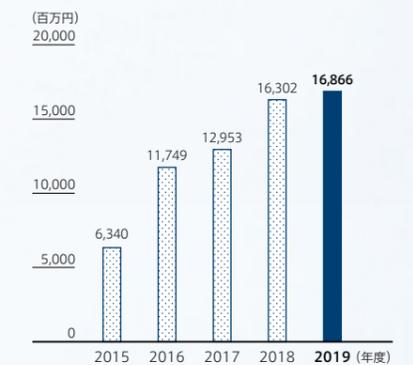
売上高



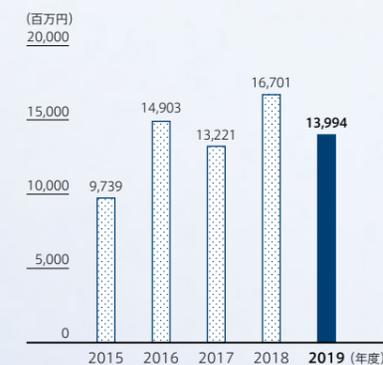
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



研究開発費



EPS / ROE



1株当たり配当金 / 配当性向

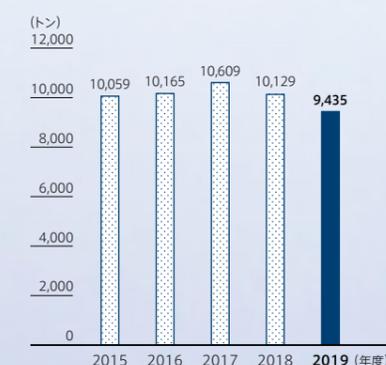


非財務ハイライト

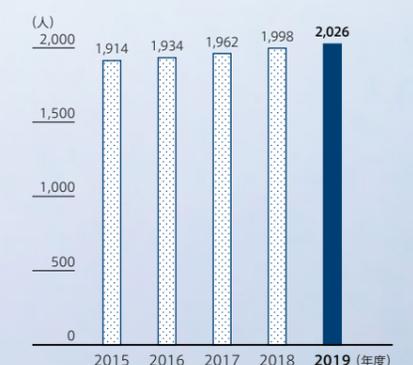
エネルギー総使用量 (主要事業所*)



CO₂排出量 (主要事業所*)



連結従業員数



* 主要事業所: 本社地区、小田原総合製剤工場、東部創薬研究所

価値創造モデル

日本新薬は、「ヘルスケア分野で存在意義のある会社」として、持続的な成長を成し遂げ世界から評価されることを目指します。

経営環境

- 少子高齢化のさらなる進展
- 労働人口の減少
- 人生100年時代の到来
- 働き方の多様化
- 後発医薬品使用促進策の推進
- 医療費抑制のための薬価引き下げ
- 創薬モダリティの多様化
- 個別化医療の進歩
- 健康・予防志向の浸透

経営環境の変化を事業機会ととらえ、「経営計画」へ反映



目指す姿
ヘルスケア分野で存在意義のある会社
の実現

「日本新薬の経営資源(強み)」強化